

振り返る

2023. 7. 28

いつの間にか、7月も下旬となった。4月6日から1学期がスタートして、いつものように時が駆け抜けた。私のスタイルとして、スケジュール帳ではないが、1週間単位で物事を考えている。だから、月曜日が重要である。仕事の段取りだけでなく、何曜日には、何を着るかまで考えている。この日は出張だから、上着を着るかどうか。着るならば、シャツはどうするか。金曜日に出す「校長通信」と「職員室だより」は、月曜日に作成し、火曜日には推敲をする。水曜日に最終点検をして、木曜日にホームページにアップし、配布用の印刷をする。

学校では、様々なことが起こる。誠意ある対応を心がける。誠意とは時間である。遅くなればなるほど、打つ手はなくなる。先生方は、よくやっている。感謝である。すぐに動いてくれる。可能であれば、金曜日までに、決着や解決までもっていきたい。なぜなら、誰でも、もやもやしたまま週末を過ごしたくはないだろう。だからといって、解決を急いでいるわけではない。それは誠意ではない。解決までいかない場合は、現状を確認し、次週にやるべきことを確認して週末を迎える。もちろん、金曜日の出来事の場合は、こうはいかない。

教員にとって、夏休みは、1学期の取組を振り返り、2学期以降のことをじっくりと考える期間である。年度当初に考えていたことを1学期の間にやってみたところ、うまくいかなかったり、こうした方がいいと感じたりすれば、修正が必要である。振り返りの中には、2学期からすぐにできること、次年度へ向けて検討すべきこと、数年スパンで考えるべきことなどがある。

アイディアはオフのときに出やすい。あるいは、追い込まれて、必死に考え抜いて、考え抜いて、ふと降りてくることがある。夏休みは、仕事はしているが、オフの状態である。このオフの時間が大切である。

私の場合は、今の学校に勤務しているが、次年度以降というものが存在しない。それは、後の人に任せるしかない。だからといって、3月までに何が何でもやるとか、次年度以降にこうした方がいいという強いものがあるわけではない。考えはあるが、それをやるかどうかは別の問題である。

こういったことは、今までもあった。小学校の校長を2年間務めた。同じだった。やりたいことが10あったとして、3ぐらいでとどめた。高等学校の校長を2年間務めた。同じだった。こうした方がいいと思うことはたくさんあった。だが、実行に移したのは少なかった。中学校での3年間は、今までよりは、自分の考えを実行に移すことができた。何か、強い信念のようなものがあるわけではなく、そのときそのときの状況に合わせて、考えたこと、やるべきことをやっているだけである。自分の中で、自分の考えが変わっていくことを容認している。

授業では、振り返りが重要視されている。これは、仕事や人生においても同じだと思う。振り返ることによって、気づいたり、新たに考えたりすることが出てくる。やはり、大切な時間である。